

平成 31 年度入学試験問題（前期日程）

# 音 楽 理 論

（中等教育教員養成課程 音楽専攻）

## 注意事項

1. 解答は、すべて別紙解答紙の指定の箇所に記入すること。
2. 解答紙には、必ず受験番号を記入すること。

〔1〕 次の楽譜を見て、以下の問に答えなさい。

(問 1) 楽譜中の①～④で示した2音間の音程をそれぞれ答えなさい。  
ただし複音程は単音程に直して解答すること。

(問 2) 楽譜中の(a)～(d)で示した2音間の転回音程を、それぞれ答えなさい。ただし複音程は単音程に直して解答すること。

(問 3) 楽譜中に  で囲んだ和音(ア)～(ウ)が、それぞれ以下の度数で所属する調の音階の上行形を、その右側に指示する譜表上に、調号を用いて全音符で書きなさい。ただし、短調は和声短音階とする。

(ア)  $\text{II}_7$  . . . . . 高音部譜表

(イ)  $\text{IV}$  . . . . . 低音部譜表

(ウ)  $\text{VII}_7$  . . . . . アルト譜表

[ 2 ] 次の(1)～(4)に指定した種類の和音の基本形ができるように、それぞれの解答欄の該当箇所に全音符で音を書き足しなさい。ただしこのとき、解答欄の黒い音符が、各間に指定した和音構成音になるようにすること。また黒い音符に変化記号を書き加えてはならないものとする。

(1) 短三和音          第3音

(2) 増三和音          第5音

(3) 減七の和音        第7音

(4) 減三和音          根音

〔3〕 次の楽譜について、以下の間に答えなさい。

Allergo moderato

The musical score is written on two staves in 4/4 time with a key signature of two sharps (D major). The tempo is marked 'Allergo moderato'. The first staff begins with a piano (*p*) dynamic. It contains several triplet markings (indicated by a '3' above the notes) and dynamic markings of mezzo-piano (*mp*), mezzo-forte (*mf*), and mezzo-forte (*mf*). The second staff continues the melody with a forte (*f*) dynamic and ends with a mezzo-piano (*mp*) dynamic. A downward-pointing arrow (↓) is placed at the end of the second staff, indicating a specific point of interest for the questions.

(問 1) 次の各問の答えを解答欄に書きなさい。

- ①この曲の最高音の音名を、ドイツ音名で答えなさい。
- ②この曲の最低音の音名を、ドイツ音名で答えなさい。
- ③この曲の最高音と最低音でできる音程を答えなさい。ただし単音程にして答えること。
- ④この楽譜をこのままEs管のアルトサクソフォーンで演奏すると、4小節目の最初の音は、実音で何の音が出ることになるか。その音の音名を、ドイツ音名で答えなさい。
- ⑤8小節目の↓で示した記号の名称を書きなさい。

(問 2) この曲全体を、増4度低く、高音部譜表に調号を用いて移調しなさい。ただし8小節目の↓は書き写さなくてよい。

[ 4 ] 次に掲げる旋律は、何分の何拍子で、何調であると判断できるか。  
それぞれの拍子と調を解答欄に書きなさい。

- (1) 
- (2) 
- (3) 
- (4) 
- (5) 

〔5〕 次の問に答えなさい。

(問 1) 次の各文の ( ① ) ~ ( ⑤ ) の中に、最も適切な語を解答欄に書きなさい。

(1) 五線譜では音高を表示するのに5本の線を基本として用いるが、それらで表示できないとき、5本の線の上あるいは下に、臨時に線を足して用いる。こうした臨時の線を ( ① ) という。

(2) 長調の音階において、第1音を主音という。また第4音を ( ② )、第7音を ( ③ ) という。

(3) 混声4部合唱では女声と男声をそれぞれ2つずつのパートに分ける。このうち、女声の低いほうのパートを ( ④ )、男声の高いほうのパートを ( ⑤ ) と呼ぶ。

(問 2) オーケストラの二管編成において、標準的に用いられる木管楽器のうち、フルート以外の木管楽器をすべて書きなさい。

〔6〕 次の各文の説明にもっともよく当てはまる人物名を解答欄に書きなさい。

- (1) 18世紀後半のオーストリアの作曲家。36年に満たない生涯の中で、40曲を超える交響曲、27曲とされるピアノ協奏曲や、数多くのオペラ《フィガロの結婚》や《魔笛》などを作曲した。その作品は現在でもきわめて人気が高く、コンサートでも頻繁に演奏される。
- (2) 1875年にフランスのバスク地方で生まれた。輪郭のはっきりした形式、古典的なバランス感覚、新鮮で色彩的な和声に支えられた精緻な作曲技法を特徴とする。ピアノ独奏曲では、《夜のガスパール》、《クープランの墓》、《鏡》、《水の戯れ》などが有名。管弦楽の扱いにも優れ、自作のピアノ曲だけでなく、ムソルグスキーの《展覧会の絵》を管弦楽版に編曲した。
- (3) 1685年に生まれ、1750年に亡くなったドイツの作曲家。ルター一派教会の作曲家として、約200曲の教会カンタータや《マタイ受難曲》などの宗教作品を作曲した。器楽作品では、例えばオルガンやチェンバロで演奏するフーガや組曲に、後世の模範となるきわめて質の高い作品を書き残した。《平均律クラヴィーア曲集》と呼ばれる2巻24曲の作品集は、鍵盤音楽における金字塔とされる。
- (4) 1840年生まれのロシアの作曲家。6曲の交響曲、《ピアノ協奏曲第1番変ロ短調》、《ヴァイオリン協奏曲ニ長調》、バレエ音楽《白鳥の湖》や《くるみ割り人形》などが特に有名である。1893年、「悲愴」と呼ばれている《交響曲第6番ロ短調》の初演後まもなく亡くなった。

〔 7 〕 次の問に答えなさい。

(1) 次の (ア) ～ (ウ) の日本の伝統音楽の種目について、成立の古い順に、解答欄に記号を並べなさい。

(ア) 義太夫節 (イ) 雅楽 (ウ) 狂言

(2) 《勸進帳》という作品について答えなさい。

① この作品名の読み仮名を、解答欄に平仮名で答えなさい

② この作品の種目は、以下の (ア) ～ (エ) のうちどれか、記号で答えなさい。

(ア) 雅楽 (イ) 能楽 (ウ) 文楽 (エ) 歌舞伎

③ この作品の上演時に舞台上で演奏される楽器を、以下の (ア) ～ (エ) の中から2つ選び、記号で答えなさい。

(ア) 龍笛 (イ) 箏 (ウ) 三味線 (エ) 能管

④ この作品に関連の深い人物名を、以下の (ア) ～ (ウ) の中から選び、記号で答えなさい。

(ア) 八橋検校 (イ) 市川団十郎 (ウ) 世阿弥



[ 8 ] 次の楽語の意味を解答欄に書きなさい。

- (1) Andante
- (2) Prestissimo
- (3) Largo
- (4) subito *p*
- (5) agitato
- (6) misterioso
- (7) espressivo
- (8) pizz.
- (9) t.c.
- (10) smorzando